tumsグループの職員は
皆様の一生を支える
“ちいきヒーロー”をめざします。

ちいきヒーロー

Q1：施設の魅力　Q2：やりがい・働く中で一番うれしかったこと　Q3：地域の皆様へ伝えたいこと

医療



馬場 ゆう子
川口さくらクリニック
訪問看護ステーション
看護師

A1　川口さくらクリニックの名前の通り、春になると事務所の周りは桜が咲き誇ります。また、同じ建物内にクリニック、訪問看護ステーション、デイケア、歯科があり、隣には川口さくら病院があります。患者さんにとって最善の選択肢をスムーズにご案内できる体制が整っています。

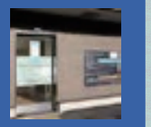
A2　私たち訪問看護師は患者さんのご自宅に伺い、かかりつけ医と連携して24時間、365日暮らしをサポートしています。お一人に対してチームの複数名が順に対応するため、患者さんの中には看護師それぞれに「この人とはこの話をしたい」と考えてくださる方がいます。私は“笑顔お届け担当”として一緒に笑い、悩み、ときに泣き合って心に寄り添えたらと思っているので、「話していると病気のことを一瞬忘れられます」という声を聞いた際は、私も心が温かくなりました。

A3　自宅で療養生活を送られている方やご家族に私たちが笑顔をお届けします。2025年問題を間近に控え注目されている訪問看護ですが、身近でない方は疑問も多いかと存じます。些細なことでもお気軽にご相談ください。


愛犬のふくです、15歳ですがとっても元気です。


八百屋さんで売っている焼き芋にはまっています。

川口さくらクリニック



内科・老年内科・糖尿病内科・認知症科・呼吸器内科の診療、在宅医療・デイケアを行う、主に高齢者の暮らしを支援するクリニックです。

福祉



近藤 由里
特別養護老人ホーム 道合さくらの杜
機能訓練指導員（OT）／主任

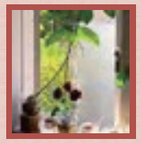
A1　グループ内の病院と連携が図りやすいほか、屋上から富士山を望めたり、近所の植物園で四季折々の自然を楽しめたりと安心して豊かな時間を送ることができます。また、職員が季節のイベント毎に作り込むロビーの装飾は、利用者さんにもご家族にも好評をいただいています。

A2　機能訓練指導員は、介護士、看護師、ケアマネージャーらとチームを組んで利用者さんに合わせた生活リハビリプランを立案・実施します。コーヒーがお好きな方には、毎朝豆を選び挽いていただき機能訓練を行いました。奥様がそのコーヒーかすで手指の拘縮(※1)予防クッションを作ってくださり、施設の皆様に配りました。機能訓練の中で利用者さんの望みを叶え笑顔の輪を広げられたことをチーム全員で喜びましたね。それ以外にも、人生の先輩である利用者さんが掛けてくださる言葉、教えてくれる経験のすべてがありがたいです。

※1…関節が動かしにくくなる状態のこと

A3　感染症流行前はボランティアの方や職業体験の中学生を招き、積極的に地域交流を行ってきました。在ってよかったと思っていただける施設になれるよう取り組んで参りますので、今後も何卒よろしくお願いいたします。


私生活でも季節のイベントは大切にしていて、夏には七夕そばをつくりました。


好物のアボカドを観葉植物にしました。たくさんできたので職員にも贈りました。

特別養護老人ホーム 道合さくらの杜



在宅での生活が困難となった要介護度３以上（特例有）の高齢者の方が原則として終身でご入居いただける公的施設。当施設はユニット型です。

保育



髙梨 亜矢
タムスわんぱく保育園荒川
保育士／主任

A1　昨年4年に開園したばかりの木材を基調とした温もりある雰囲気が特徴の保育園で、他のわんぱく保育園と違い信用金庫のビルの3・4階にあります。近所には尾久の原公園をはじめたくさん公園があるため、みんなで散歩に出かけ、異年齢交流を楽しみながらのびのびと身体を動かして遊んでいます。

A2　主任として各クラスのサポートに入り、保育園全体の動きをみています。子どもたちに毎日笑顔で過ごしてもらうには？保護者の皆様が安心できる場になるには？と常に考える当園の先生方と一緒に、桐和会グループが掲げる“子ども主体の保育”の追求に努めています。そういった中で、子どもたちの成長を身近に見たり聞いたりするとうれしいですね。保護者の皆様の温かい「ありがとうございます」のお言葉も、子どもたちが元気に楽しく過ごす様子も、うれしいことは毎日いっぱいあって選べません！

A3　皆様には散歩中などよく声をかけていただき、地域の温かさを感じています。開園後１年も経っていませんが、交流の場を積極的に設けて親しみのある保育園になりたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。


地元の海は波の音に癒され気持ちをリセットできる大好きな場所です。


休日は友達と美味しいものを食べてリフレッシュしています。

タムスわんぱく保育園荒川



“わんぱくっ子”を育てます。定員は67名。1歳児～5歳児の保育を行います。系列クリニックによる医療面のサポート体制も整っています。

問う輪。

人生におけるあらゆる過程をtumsグループで。
多業種連携にコミットする桐和会の輪を問います。

認可保育園　**篠崎わんぱく保育園**
定員99名
（0歳児7名、1歳児～3歳児各18名、4歳以上児36名）
保育時間
7時30分～19時30分（延長保育18時30分～19時30分）

子ども主体の
“わんぱく”な保育を

◆グループ初の保育園

村山「当園は2013年、“わんぱくクリニック”に併設されている病児保育室を土台に、江戸川区篠崎に桐和会グループ内で初めてできた保育園です。園名の通り、“わんぱくっ子を育てる保育”を大切に、0歳児クラスから5歳児クラスまで99名が過ごしています。」

秋山「子どもたちにとってのびのびと、元気で活発にたくさん遊んで楽しめる環境となるよう心掛けています。先生が厳しく、子どもたちが委縮していたら“わんぱく”な姿は見られないですよね。子ども主体の保育を大切にしています。」

◆主体的保育への取り組み

清水「事前に先生たちが毎日の予定を決めているのですが、子どもたちの“関心”や“楽しい”という気持ちを尊重しています。例えば、ひまわりの種を植えるとき、先生たちから『ひまわりの種を植えましょう！』と伝えるのではなく、ひまわりの種をみんなの目に見えるところに置いておいて、『これなあに？』『ひまわりの種だ！』『植えたい！』という声が自然に出てくるように心掛けています。『じゃあどこに植える？』『土はどんなのにする？』『屋上に植えよう！』『草ボーボーだよ？』『草取り対決しよう！』とみんなの気持ちのまま楽しんで栽培を行い、夏には元気いっぱいにひまわりが咲いてくれました。土台から作っていく経験をして興味や関心が広がったらうれしいですね。」

高塚「他にも、雨の日に『お外で遊びたい！』といったときは、みんなでカッパをきて一緒にお外に行き、雨の日に水たまりの中に入ってバシャバシャ遊んだり、篠崎には公園がたくさんあるので、『○○公園に行きたい！』という声に合わせて散歩に出かけたりして、子どもたちの“やりたい”を大切にするようにしています。子どもたちがわんぱくに遊べるよう、協力してくださる保護者の方にも感謝の気持ちでいっぱいです。」

◆コロナ禍で成長を感じた運動会

村山「今年はコロナ禍でイベントに保護者の方をお呼びすることができないことが多かったのですが、感染症対策を徹底した上で、11月に今年初めて4歳児クラスと5歳児クラスの保護者の方をお呼びし、運動会を開催することができました。」

高塚「5歳児クラスは、お父さんお母さんの前で緊張しながらも、毎年の目標である竹馬と、組体操を無事発表することができました。練習を始めたときから、楽しみながらも、困っている仲間がいたら気にかけ、目標に向かって一緒に協力する姿を日々見ることができ、一人ひとりがその子のペースで成長しているんだなと感じる運動会で胸がいっぱいになりましたね。」

秋山「子どもの成長もうれしく感じますし、それを保護者の方と一緒に共感できることが一番の喜びになります。0歳の時から見ていた子が竹馬に乗るかっこいい姿を見せてくれるその瞬間は本当に感慨深くなりますね。」

◆愛される保育園づくり

村山「医療・福祉グループとしての利点を最大限に活用し、状況に応じて早急にサポートを行うことができるよう努めています。子どもの成長を一緒に見守る“輪”を大切に、子どもたちはもちろんのこと、保護者の方や職員、そして地域の方からも今まで以上に愛される保育園になれたらと思っています。」

秋山「朝7時半から夜の7時半まで、ご家庭の状況によっては保育園が家よりも長い時間過ごす場所になる子もいます。保育園がお家みたいに安心でき、毎日楽しく心地よくいられる場所であれたらと思います。子どもが心から楽しそうに通っている場所だったら、保護者の方も安心してお仕事に行けると思うんです。」

清水「泣いた顔で見送るよりも『保育園大好き！』『行ってきます！』って笑顔で言ってくれた方が安心できますよね。個人的には、色々なことに興味を持てるって本当に素敵なことだと思っているので、明るく穏やかで活気あるこの園の雰囲気を大切にしながら、子どもたちに寄り添い、好きなことが沢山生まれるように全身で想いを伝えながら保育をしていきたいですね。」

高塚「保護者の方とは、家庭と園の子どもたちの様子を共有し合えるよう心掛けています。困ったことがあったときには直ぐに声を掛けていただきたいですね。園が子どもたちにとって、気持ちをオープンにでき、のびのびと過ごせる場所であるよう努めると同時に、自分自身も子どもたちと同じくらい楽しく保育し、一緒に楽しいと思える場を作っていきたいですね。」

秋山「子どもも先生も、“わんぱく”にということですね！」


秋山 克枝
主任保育士


村山 ゆり子
園長


高塚 春菜
5歳児担任


清水 咲也
副主任保育士



篠崎わんぱく保育園
東京都江戸川区
篠崎町2-19-21
☎03-3676-0189

